



# 第12回目 勤務助産師部会「わいわいカフェ」

日時：令和4年11月27日12時～13時

テーマ：「妊婦さんが主体的にお産に取り組めるように、助産師が出来ること」



## 《プログラム》

1. 開会  
オリエンテーション
2. 自己紹介
3. 意見交換

今回のカフェは、兵庫県助産師会のちからアップ研修会、毛利多恵子先生の「女性に優しいお産」のあとに開催しました。共通点がある内容をお願い、テーマは「妊婦さんが主体的なお産に取り組めるように、助産師が出来ること」にしました。しかし意見交換は、テーマとずれて、コロナ禍での母子同室に関する内容について意見交換がされました。今回のカフェのテーマと、意見交換の内容の共通点は、「**女性の声を聴く**」こと。コロナ禍といわれて3年が経ちました。母子を守る助産師として、まだまだ、もどかしく思うことも多くあるかと思います。みなさまと力を合わせて、私たち助産師が出来ることをこれからも**心を込めて実践していきたい**と思います。



勤務助産師部会会長  
寺嶋智穂

## 《意見交換》

- ・何故、コロナ陽性であれば母子同室が出来ないのか？
- ・情報提供、インフォームドコンセント、女性に選択する権利が与るのではないか
- ・コロナ禍となり、助産師として出来ることは何か、継続ケアの大切さなど改めて考えさせられている
- ・妊産婦に寄り添う、傍に居る助産師とは？
- ・満足、尊重する関わり、学び、今後に繋げ、女性を支える助産師を目指したい
- ・決まったことだけではなく、女性の代弁者として行動していきたい

